

観光地域づくりに関する住民意識調査 報告書

令和6年3月

一般社団法人東紀州地域振興公社

1 調査概要

(1) 調査目的

東紀州地域にお住まいの方々の観光地域づくりに対する意識などを把握し、今後の観光施策に活かすため。

(2) 調査方法

東紀州地域5市町の広報誌11月号への当アンケート二次元コード掲載等により実施。

(3) 調査機関

令和5年11月1日(水)から11月30日(木)まで

(4) 有効回収数

77件

(5) 調査項目

- 属性(性別・年齢・お住まい)
- 東紀州地域は魅力的な観光地であると思うか
- 観光客と接する機会はあるか
- 東紀州地域を訪れる観光客に対する印象【日本人観光客・外国人観光客】
- 東紀州地域の観光地域づくりに対する印象
- 東紀州地域の観光地域づくりの位置付け
- 観光地域づくりに関わりたいと思うか
- 東紀州地域の観光地域づくりに対して、今後どのような効果・課題があると思うか
- 観光地域づくりに対する意見

(6) 調査主体

一般社団法人 東紀州地域振興公社

凡例

- SA…Single Answer 単一回答
- MA…Multiple Answer 複数回答
- LA…Limited Answer 回答数の制限付き複数回答

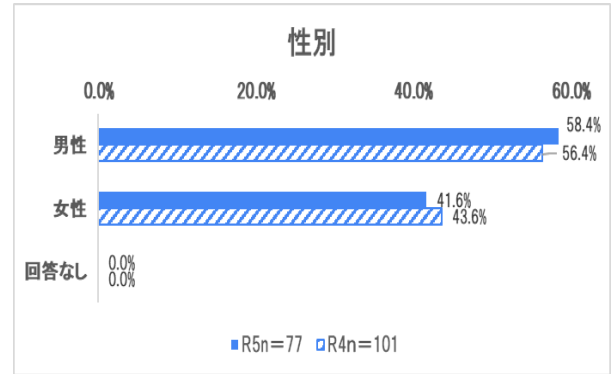
2 調査結果の概要

(1) 属性

- ・性別は、令和4年度と比べ、「男性」の割合が増加した。(図表1)
- ・年齢は、令和4年度と比べ、「20歳代」「30歳代」「40歳代」の割合が増加し「50歳代」以上が減少した。
- ・居住地は、「尾鷲市」が33.8%と昨年度より6.5%増加した。また「熊野市」が29.9%と昨年度より8.7%減少した。

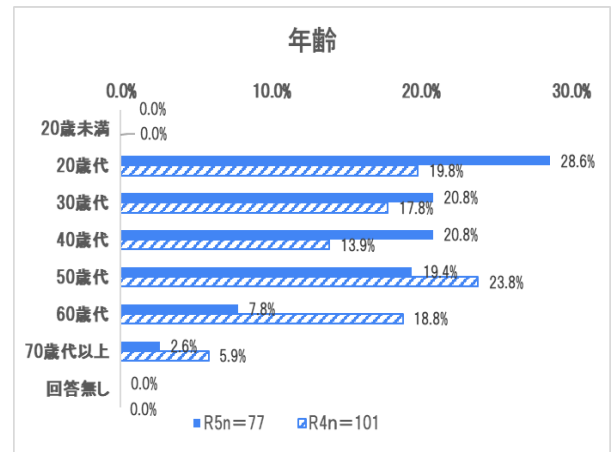
性別【SA】〈図表1〉

		【件(%)】	
		令和5年度	令和4年度
性別	全体	77(100.0)	101(100.0)
	男性	45(58.4)	57(56.4)
	女性	32(41.6)	44(43.6)
	その他	-	-
	回答無し	-	-



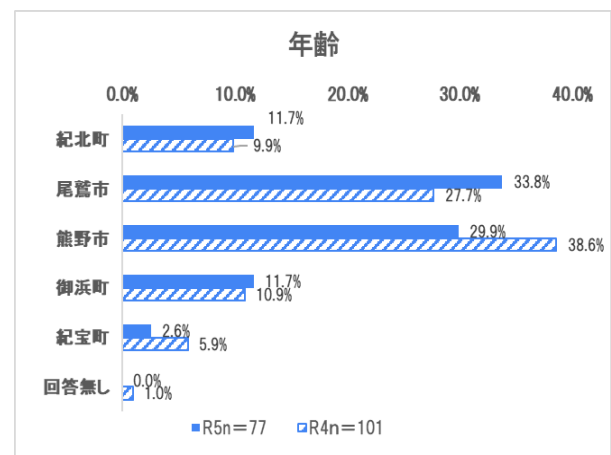
年齢【SA】〈図表2〉

		【件(%)】	
		令和5年度	令和4年度
年齢	全体	77(100.0)	101(100.0)
	20歳未満	-	-
	20歳代	22(28.6)	20(19.8)
	30歳代	16(20.8)	18(17.8)
	40歳代	16(20.8)	14(13.9)
	50歳代	15(19.4)	24(23.8)
	60歳代	6(7.8)	19(18.8)
	70歳代以上	2(2.6)	6(5.9)
	回答無し	-	-



居住地【SA】〈図表3〉

		【件(%)】	
		令和5年度	令和4年度
居住地	全体	77(100.0)	101(100.0)
	紀北町	9(11.7)	10(9.9)
	尾鷲市	26(33.8)	28(27.7)
	熊野市	23(29.9)	39(38.6)
	御浜町	9(11.7)	11(10.9)
	紀宝町	10(2.6)	12(5.9)
	回答無し	-	1(1.0)



(2) 東紀州地域は魅力的な観光地であるか / 東紀州地域を訪れる観光客と接する機会はあるか

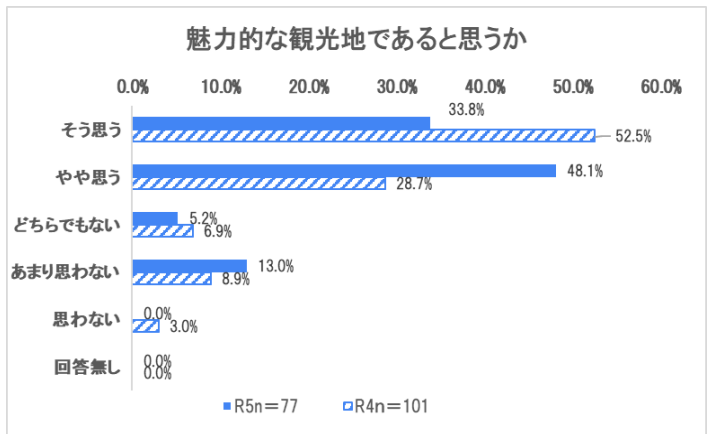
・東紀州地域は魅力的な観光地であるかについて、「そう思う」「やや思う」といったポジティブな回答が81.9%あり、昨年度より0.7%増加した。また、「あまり思わない」「思わない」といったネガティブな回答が13.0%と、昨年度より1.1%増加した。(図表4)

・観光客と接する機会については、「仕事の一環で接する機会がある」「生活の中で接する機会がある」の回答が昨年度より3.7%増加した。(図表5)

・「接する機会はほとんどない」と回答した方の「魅力的な観光地であると思うか」との問いに「そう思う」「やや思う」と回答した方が昨年度より10.6%増加しており、住民に観光地としての魅力が伝わりつつある。(図表6)

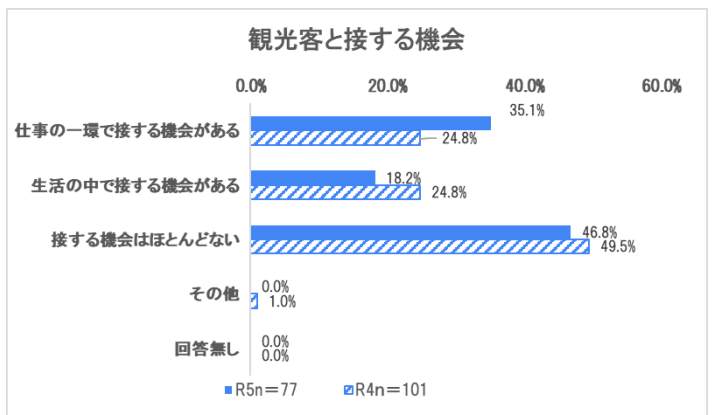
魅力的な観光地であると思うか【SA】 (図表4)

		【件(%)】	
		令和5年度	令和4年度
魅力的な観光地であると思うか	全体	77(100.0)	101(100.0)
	そう思う	26(33.8)	53(52.5)
	やや思う	37(48.1)	29(28.7)
	どちらでもない	4(5.2)	7(6.9)
	あまり思わない	10(13.0)	9(8.9)
	思わない	-	3(3.0)
	回答無し	-	-



観光客と接する機会【SA】 (図表5)

		【件(%)】	
		令和5年度	令和4年度
観光客と接する機会はあるか	全体	77(100.0)	101(100.0)
	仕事の一環で接する機会がある	27(35.1)	25(24.8)
	生活の中で接する機会がある	14(18.2)	25(24.8)
	接する機会はほとんどない	36(46.8)	50(49.5)
	その他	-	1(1.0)
	回答無し	-	-



魅力的な観光地であると思うか【SA】 × 観光客と接する機会【SA】 (図表6)

			【件(%)】					
			魅力的な観光地であると思うか					
			全体	そう思う	やや思う	どちらでもない	あまり思わない	思わない
観光客と接する機会	令和5年度	全体	77(100.0)	26(33.8)	37(48.1)	4(5.2)	10(13.0)	-
		仕事の一環で接する機会がある	27(100.0)	11(40.7)	13(48.1)	1(3.7)	2(7.4)	-
		生活の中で接する機会がある	14(100.0)	5(35.7)	5(35.7)	1(7.1)	3(21.4)	-
		接する機会はほとんどない	36(100.0)	10(27.8)	19(52.8)	2(5.6)	5(13.9)	-
		その他	-	-	-	-	-	-
	令和4年度	全体	101(100.0)	53(52.5)	29(28.7)	7(6.9)	9(8.9)	3(3.0)
		仕事の一環で接する機会がある	25(100.0)	14(56.0)	8(32.0)	2(8.0)	1(4.0)	-
		生活の中で接する機会がある	25(100.0)	18(72.0)	6(24.0)	1(4.0)	-	-
		接する機会はほとんどない	50(100.0)	20(40.0)	15(30.0)	4(8.0)	8(16.0)	3(6.0)
		その他	1(100.0)	1(100.0)	-	-	-	-

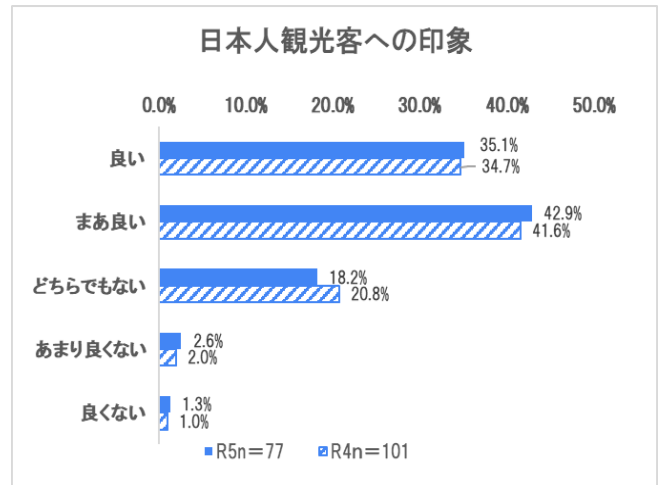
(3) 東紀州地域を訪れている観光客(国内外それぞれ)に対する印象

・日本人観光客に対する印象は、ポジティブな回答が多く、昨年度と比べ1.7ポイント増加した。(図表7)

・外国人観光客に対する印象は「良い」が7.1ポイント増加した一方で、「あまり良くない」が7.4ポイント増加し、考えが分かれている。(図表8)

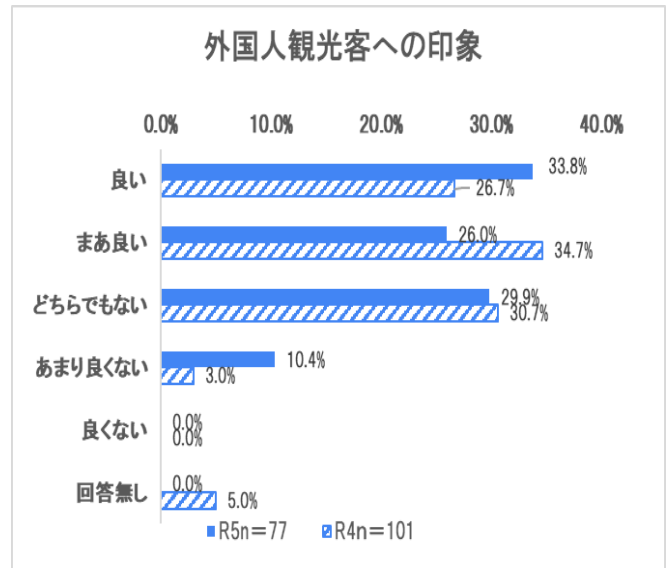
日本人観光客への印象【SA】 (図表7)

		【件(%)】	
		令和5年度	令和4年度
日本人観光客への印象	全体	77(100.0)	101(100.0)
	良い	27(35.1)	35(34.7)
	まあ良い	33(42.9)	42(41.6)
	どちらでもない	14(18.2)	21(20.8)
	あまり良くない	2(2.6)	2(2.0)
	良くない	1(1.3)	1(1.0)



外国人観光客への印象【SA】 (図表8)

		【件(%)】	
		令和5年度	令和4年度
外国人観光客への印象	全体	77(100.0)	101(100.0)
	良い	26(33.8)	27(26.7)
	まあ良い	20(26.0)	35(34.7)
	どちらでもない	23(29.9)	31(30.7)
	あまり良くない	8(10.4)	3(3.0)
	良くない	-	-
	回答無し	-	5(5.0)



(4) 東紀州地域の観光地域づくりについての印象

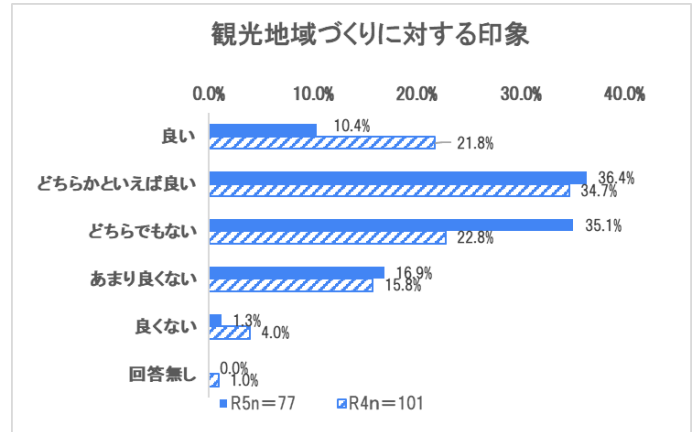
・「良い」「どちらかといえば良い」との回答が 46.8%に対し、昨年度より 9.7 ㊦減少し、「どちらでもない」が 12.3 ㊦増加した。〈図表 9〉

・市町別では居住地が御浜町の方は「良い」「どちらかといえば良い」との回答が、昨年度 45.5%であったが、今年度は 77.8%と大幅に増加している。〈図表 10〉

・「接する機会はほとんどない方」のネガティブな回答が昨年度に比べ、8.1 ㊦減少し、観光地域づくりに対する印象が良くなっている。〈図表 11〉

観光地域づくりに対する印象【SA】 〈図表 9〉

		【件(%)】	
		令和5年度	令和4年度
観光地域づくりに対する印象	全体	77(100.0)	101(100.0)
	良い	8(10.4)	22(21.8)
	どちらかといえば良い	28(36.4)	35(34.7)
	どちらでもない	27(35.1)	23(22.8)
	あまり良くない	13(16.9)	16(15.8)
	良くない	1(1.3)	4(4.0)
	回答無し	-	1(1.0)



観光地域づくりに対する印象【SA】 × 居住地【SA】 〈図表 10〉

			観光地域づくりに対する印象						
			全体	良い	どちらかといえば良い	どちらでもない	あまり良くない	良くない	回答無し
居住地	令和5年度	全体	77(100.0)	8(10.4)	28(36.4)	27(35.1)	13(16.9)	1(1.3)	-
		紀北町	9(100.0)	3(33.3)	2(22.2)	1(11.1)	3(33.3)	-	-
		尾鷲市	26(100.0)	-	8(30.8)	10(38.5)	7(26.9)	1(3.9)	-
		熊野市	23(100.0)	3(13.0)	9(39.1)	10(43.5)	1(4.4)	-	-
		御浜町	9(100.0)	1(11.1)	6(66.7)	1(11.1)	1(11.1)	-	-
		紀宝町	10(100.0)	1(10.0)	3(30.0)	5(50.0)	1(10.0)	-	-
		回答無し	-	-	-	-	-	-	-
	令和4年度	全体	101(100.0)	22(21.8)	35(34.7)	23(22.8)	16(15.8)	4(4.0)	1(1.0)
		紀北町	10(100.0)	2(20.0)	3(30.0)	1(10.0)	3(30.0)	1(10.0)	-
		尾鷲市	28(100.0)	4(14.3)	11(39.3)	8(28.6)	4(14.3)	1(3.6)	-
		熊野市	39(100.0)	10(25.6)	15(38.5)	9(23.1)	4(10.3)	-	1(2.6)
		御浜町	11(100.0)	4(36.4)	1(9.1)	2(18.2)	3(27.3)	1(9.1)	-
		紀宝町	12(100.0)	2(16.7)	5(41.7)	3(25.0)	1(8.3)	1(8.3)	-
		回答無し	1(100.0)	-	-	-	1(100.0)	-	-

観光地域づくりに対する印象【SA】 × 観光客と接する機会【SA】 〈図表 11〉

			観光地域づくりに対する印象						
			全体	良い	どちらかといえば良い	どちらでもない	あまり良くない	良くない	回答無し
観光客と接する機会	令和5年度	全体	77(100.0)	8(10.4)	28(36.4)	27(35.1)	13(16.9)	1(1.3)	-
		仕事の一環で接する機会がある	27(100.0)	4(14.8)	11(40.7)	7(25.9)	5(18.5)	-	-
		生活の中で接する機会がある	14(100.0)	2(14.3)	5(35.7)	3(21.4)	4(28.6)	-	-
		接する機会はほとんどない	36(100.0)	2(5.6)	12(33.3)	17(47.2)	4(11.1)	1(2.8)	-
		その他	-	-	-	-	-	-	-
	令和4年度	全体	101(100.0)	22(21.8)	35(34.7)	23(22.8)	16(15.8)	4(4.0)	1(1.0)
		仕事の一環で接する機会がある	25(100.0)	5(20.0)	11(44.0)	4(16.0)	4(16.0)	1(4.0)	-
		生活の中で接する機会がある	25(100.0)	7(28.0)	9(36.0)	5(20.0)	2(8.0)	2(8.0)	-
		接する機会はほとんどない	50(100.0)	10(20.0)	14(28.0)	14(28.0)	10(20.0)	1(2.0)	1(2.0)
		その他	1(100.0)	-	1(100.0)	-	-	-	-

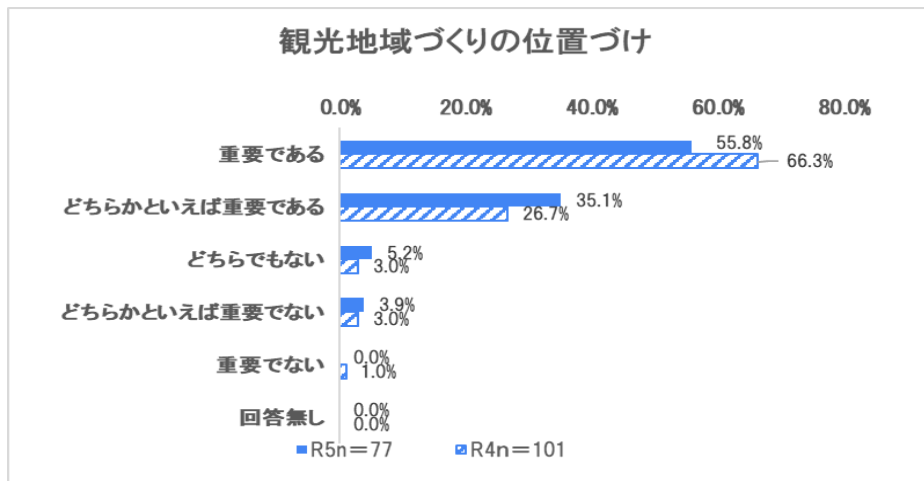
(5) 東紀州地域にとって観光地域づくりはどのような位置づけか

・全体として「重要である」「どちらかといえば重要である」の回答が 90.9%であり、「どちらかといえば重要でない」「重要でない」の回答も 3.9%と少ないことから、昨年同様、地域全体として観光地域づくりが地域にとって重要な役割を果たすと考える住民の方が多くことが分かる。(図表 12)

・「重要である」「どちらかといえば重要である」と回答した比率は、昨年に比べ「仕事の一環で接する機会がある」が 3.4 ㊦、「生活の中で接する機会がある」が 6.2 ㊦減少している。(図表 13)

観光地域づくりの位置づけ【SA】 (図表 12)

		【件(%)】	
		令和5年度	令和4年度
観光地域づくりの位置づけ	全体	77(100.0)	101(100.0)
	重要である	43(55.8)	67(66.3)
	どちらかといえば重要である	27(35.1)	27(26.7)
	どちらでもない	4(5.2)	3(3.0)
	どちらかといえば重要でない	3(3.9)	3(3.0)
	重要でない	-	1(1.0)
	回答無し	-	-



観光地域づくりの位置づけ【SA】 × 観光客と接する機会【SA】 (図表 13)

			【件(%)】					
			観光地域づくりの位置づけ					
			全体	重要である	どちらかといえば重要である	どちらでもない	どちらかといえば重要でない	重要でない
観光客と接する機会	令和5年度	全体	77(100.0)	43(55.8)	27(35.1)	4(5.2)	3(3.9)	-
		仕事の一環で接する機会がある	27(100.0)	19(70.4)	6(22.2)	2(7.4)	-	-
		生活の中で接する機会がある	14(100.0)	5(35.7)	8(57.1)	-	1(7.1)	-
		接する機会はほとんどない	36(100.0)	19(52.8)	13(36.1)	2(5.6)	2(5.6)	-
		その他	-	-	-	-	-	-
	令和4年度	全体	101(100.0)	67(66.3)	27(26.7)	3(3.0)	3(3.0)	1(1.0)
		仕事の一環で接する機会がある	25(100.0)	19(76.0)	5(20.0)	-	-	1(4.0)
		生活の中で接する機会がある	25(100.0)	18(72.0)	7(28.0)	-	-	-
		接する機会はほとんどない	50(100.0)	30(60.0)	14(28.0)	3(6.0)	3(6.0)	-
		その他	1(100.0)	-	1(100.0)	-	-	-

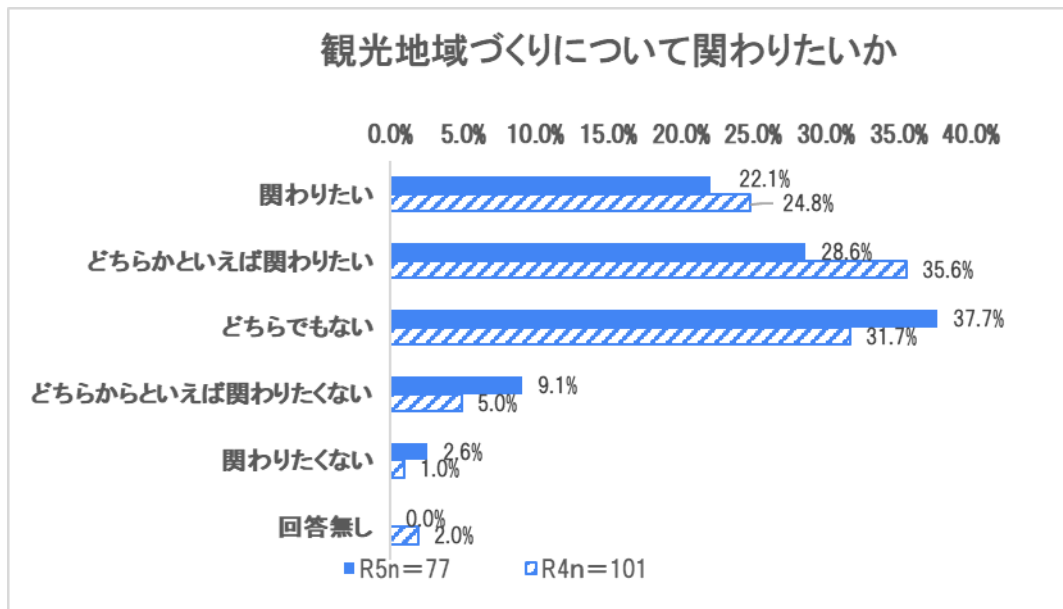
(6) あなたは観光地域づくりについて関わりたいか

・観光地域づくりに関わりたいかについて、「関わりたい」「どちらかといえば関わりたい」との回答は50.7%あり、昨年度の60.4%から9.7%減少した。(図表14)

・観光客と接する機会別での「関わりたい」「どちらかといえば関わりたい」と回答した方のうち、「仕事の一環で接する機会がある」は、昨年度に比べ、6.3%増加したが、「生活の中で接する機会がある」は25.2%減少している。(図表15)

観光地域づくりについて関わりたいか【SA】(図表14)

		【件(%)】	
		令和5年度	令和4年度
観光地域づくりに関わりたいか	全体	77(100.0)	101(100.0)
	関わりたい	17(22.1)	25(24.8)
	どちらかといえば関わりたい	22(28.6)	36(35.6)
	どちらでもない	29(37.7)	32(31.7)
	どちらからといえば関わりたくない	7(9.1)	5(5.0)
	関わりたくない	2(2.6)	1(1.0)
	回答無し	-	2(2.0)



観光地域づくりに関わりたいか【SA】×観光客と接する機会【SA】(図表15)

			観光地域づくりに関わりたいか						
			全体	関わりたい	どちらかといえば関わりたい	どちらでもない	どちらからといえば関わりたくない	関わりたくない	回答無し
観光客と接する機会	令和5年度	全体	77(100.0)	17(22.1)	22(28.6)	29(37.7)	7(9.1)	2(2.6)	-
		仕事の一環で接する機会がある	27(100.0)	11(40.7)	8(29.6)	4(14.8)	4(14.8)	-	-
		生活の中で接する機会がある	14(100.0)	3(21.4)	3(21.4)	6(42.9)	2(14.3)	-	-
		接する機会はほとんどない	36(100.0)	3(8.3)	11(30.6)	19(52.8)	1(2.8)	2(5.6)	-
		その他	-	-	-	-	-	-	-
	令和4年度	全体	101(100.0)	25(24.8)	36(35.6)	32(31.7)	5(5.0)	1(1.0)	2(2.0)
		仕事の一環で接する機会がある	25(100.0)	11(44.0)	5(20.0)	7(28.0)	1(4.0)	-	1(4.0)
		生活の中で接する機会がある	25(100.0)	7(28.0)	10(40.0)	7(28.0)	1(4.0)	-	-
		接する機会はほとんどない	50(100.0)	6(12.0)	21(42.0)	18(36.0)	3(6.0)	1(2.0)	1(2.0)
		その他	1(100.0)	1(100.0)	-	-	-	-	-

(7) 東紀州地域の観光地域づくりに対して、今後の効果・課題

・観光地域づくりに対しての今後の効果課題についてポジティブな回答が 197 件、ネガティブな回答が 34 件であった。ポジティブな回答では、「観光客による消費により、地域が豊かになる」との回答が多く、ネガティブな回答では、「ゴミの投棄等により自然や景観が破壊される」との回答が多く、昨年度と同様の傾向が見られる。(図表 16)

・「観光客による消費により、地域が豊かになる」という回答は、昨年度と同様に、観光客と接する機会に関わらず、回答比率が高い。

・仕事の一環で観光客と接する機会があると回答した方で、「雇用の増加につながる」と回答したが昨年度に比べ、15.6 ٪増加している。

観光地域づくりに対して、今後の効果・課題【LA：3つまで】(図表 16)

		【件(%)】			
		令和5年度		令和4年度	
観光地域づくり に対して、今後の 効果・課題	全体	77(100.0)		101(100.0)	
	飲食店や土産物店が増える	25(32.5)		29(28.7)	
	地域の観光以外の産業が盛んになる	14(18.2)		29(28.7)	
	雇用の増加につながる	35(45.5)		42(41.6)	
	観光客による消費により、地域が豊かになる	48(62.3)		64(63.4)	
	歴史的・文化的資源の保存・継承につながる	27(35.1)		34(33.7)	
	東紀州地域のイメージアップにつながる	33(42.9)		47(46.5)	
	自然環境・景観の保全が推進され環境が良くなる	15(19.5)		17(16.8)	
	騒音や交通渋滞などにより、生活環境が悪化する	7(9.1)		7(6.9)	
	ゴミの投棄等により自然や景観が破壊される	18(23.4)		19(18.8)	
	一部の観光客による治安の悪化が心配される	9(11.7)		9(8.9)	
	その他	13(16.9)		2(2.0)	
	回答無し	-		-	

観光客と接する機会【SA】×観光地域づくりに対して、今後の効果・課題【LA：3つまで】(図表 17)

		【件(%)】						
		観光客と接する機会						
		全体	仕事の一環で 接する機会が ある	生活の中で 接する機会が ある	接する機会は ほとんどない	その他		
東紀州地域の 観光地域づくりに 対しての 効果・課題	令和5年度	全体	77(100.0)	27(100.0)	14(100.0)	36(100.0)	-	
		飲食店や土産物店が増える	25(32.5)	8(29.6)	6(42.9)	11(30.6)	-	
		地域の観光以外の産業が盛んになる	14(18.2)	5(18.5)	3(21.4)	6(16.7)	-	
		雇用の増加につながる	35(45.5)	15(55.6)	6(42.9)	14(38.9)	-	
		観光客による消費により、地域が豊かになる	48(62.3)	16(59.3)	8(57.1)	24(66.7)	-	
		歴史的・文化的資源の保存・継承につながる	27(35.1)	9(33.3)	5(35.7)	13(36.1)	-	
		東紀州地域のイメージアップにつながる	33(42.9)	10(37.0)	4(28.6)	19(52.8)	-	
		自然環境・景観の保全が推進され環境が良くなる	15(19.5)	2(7.4)	1(7.1)	12(33.3)	-	
		騒音や交通渋滞などにより、生活環境が悪化する	7(9.1)	2(7.4)	1(7.1)	4(11.1)	-	
		ゴミの投棄等により自然や景観が破壊される	18(23.4)	5(18.5)	6(42.9)	7(19.4)	-	
		一部の観光客による治安の悪化が心配される	9(11.7)	2(7.4)	2(14.3)	5(13.9)	-	
		その他	3(3.9)	2(7.4)	-	1(2.8)	-	
		令和4年度	全体	101(100.0)	25(100.0)	25(100.0)	50(100.0)	1(100.0)
		飲食店や土産物店が増える	29(28.7)	5(20.0)	6(24.0)	18(36.0)	-	
		地域の観光以外の産業が盛んになる	29(28.7)	12(48.0)	7(28.0)	9(18.0)	1(100.0)	
		雇用の増加につながる	42(41.6)	10(40.0)	10(40.0)	22(44.0)	-	
		観光客による消費により、地域が豊かになる	64(63.4)	16(64.0)	18(72.0)	29(58.0)	1(100.0)	
		歴史的・文化的資源の保存・継承につながる	34(33.7)	10(40.0)	9(36.0)	14(28.0)	1(100.0)	
		東紀州地域のイメージアップにつながる	47(46.5)	10(40.0)	10(40.0)	27(54.0)	-	
	自然環境・景観の保全が推進され環境が良くなる	17(16.8)	3(12.0)	7(28.0)	7(14.0)	-		
	騒音や交通渋滞などにより、生活環境が悪化する	7(6.9)	2(8.0)	-	5(10.0)	-		
	ゴミの投棄等により自然や景観が破壊される	19(18.8)	5(20.0)	6(24.0)	8(16.0)	-		
	一部の観光客による治安の悪化が心配される	9(8.9)	3(12.0)	2(8.0)	4(8.0)	-		
	その他	2(2.0)	-	1(4.0)	1(2.0)	-		

(8) 東紀州地域の観光地域づくりに対する意見

【紀北町】

東紀州地域は魅力的な観光地であると思うか	あなたは観光地域づくりについて関わりたいか	東紀州地域の観光地域づくりに対するご意見がありましたらご自由にお書きください。
そう思う	関わりたい	自然を活かした観光をもっと頑張るべきだと思います。

【尾鷲市】

東紀州地域は魅力的な観光地であると思うか	あなたは観光地域づくりについて関わりたいか	東紀州地域の観光地域づくりに対するご意見がありましたらご自由にお書きください。
どちらでもない	どちらかといえば関わりたくない	熊野古道馬越峠を歩いてくる観光客は、海山側は食事するところがあるが、尾鷲側は何もなく、交通の便が悪すぎる
やや思う	どちらかといえば関わりたい	尾鷲に住んでいます。山や海などの観光地はとても良いと感じますが、観光客用のホテルや飲食店は少ないのかなと感じています。
そう思う	どちらでもない	白砂青松の、昔からの海水浴場がありますが、浜にキャンプや焚き火をして、随分と汚れてきました。観光資源になると思いますので、きれいな砂浜を守ってほしいです。
やや思う	どちらかといえば関わりたい	外国人だらけの観光地は嫌だ。接して気持ちのよい人たちに来てほしい。
やや思う	どちらかといえば関わりたい	公共交通機関を充実させるべき
やや思う	関わりたい	アンケートは良い活動だと思う。 尾鷲に住んでいて、向井のおおせむかい農園がキャンプや子どもの居場所活動などを積極的にやっていて、尾鷲の観光が少しは目立ってきているように思う。 ただ、こういったところに市役所等が積極的に応援しているとは思えない。観光を頑張ろうとしている地元企業に対し、市役所の費用を使ってでも支えることが絶対に必要だと思う。 市役所主導の観光ではなく、民間を公費で応援し、活動をやりやすくすることが最優先だと思う。 尾鷲が、観光の場として有名になることで市民としても嬉しい。

【熊野市】

東紀州地域は魅力的な観光地であると思うか	あなたは観光地域づくりについて関わりたいか	東紀州地域の観光地域づくりに対するご意見がありましたらご自由にお書きください。
そう思う	どちらでもない	沢山のことに取り組むのではなく、集中的な取り組みによる効果に期待したい。
やや思う	どちらかといえば関わりたい	熊野市に近年越してきた者ですが、この地域は海も山も近く、特産品も多いところだと思います。最近では自動車道の建設など交通の面でも便利になっており、観光という点では掘り起こしやすくなっていると思っていますので、地域づくり事業を応援しています。
そう思う	どちらかといえば関わりたい	大して新しい観光改革をやっているように思えない。どこも右にならえ的で。斬新な意見を集めてみては？
やや思う	どちらでもない	提供する側が高齢化していると思いますが、長い目で見ての計画はどのようなものでしょう。若い人もいませんよ。地域として衰退していくと思うのですが、衰退とどう付き合っていくのかなあと考えます。
どちらでもない	どちらでもない	観光名所を声優さんが楽しく紹介してくれる音声案内があれば、目の不自由なかたでも楽しめると思います。ただ、そういうアプリ等があるかどうか…

【御浜町】

東紀州地域は魅力的な観光地であると思うか	あなたは観光地域づくりについて関わりたいか	東紀州地域の観光地域づくりに対するご意見がありましたらご自由にお書きください。
そう思う	どちらかといえば関わりたい	今年名古屋から移住してきたばかりの者です。 観光客は、ソーラーパネルや洋上風力発電の風車で景観が損なわれているのを見るとがっかりします。また大型のショッピングモールなど、どこにでもあるものを見てしまうと、せっかくの旅行気分も台無しになります。東紀州にはそれがないことが自慢になると思います。多気町のヴィソンのような施設は、一時的には観光客を呼び込みますがリピーターにはなりません。今ある豊かな自然と、のんびりした風景は、SNSなどお金をかけなくても宣伝は可能です。御浜町のYouTubeなどは、見てみたいなと思える景色が豊富で参考になると思います。